

放棄水田活用の一試案＜水鳥公園のサテライト水田づくり＞

1. 農地の環境保全機能に特化した利用



農業農村の多面的機能

作物を生産し、経済活動を行うことが第一義的目的であるが、このほかの機能として

1. 国土の保全
(洪水の時水田が遊水地に)
2. 水源の涵養
3. 良好な景観形成
4. 自然環境の保全
5. 地域社会の維持活性化
7. 文化の継承

作物を生産はしないが、上記の多面的機能をもつ「環境水田」として放置水田を再生させる。

2. 冬季も水を引き込み、湿地環境の保持



冬、水鳥公園にコハクチョウが飛来してくる。餌場は安来平野であり、昼、米子でハクチョウを見かけることは少ない。

地元弓ヶ浜地域でハクチョウが採餌したり、休息している姿を日常的に見ることができれば、心とみ、地域の資源にもなる。

米川の水を放棄水田に冬も引き込み、湿地環境を保持する。部分的に水路やワンド、平場、茂みなどを作り、多様な生き物環境つくる工夫があればより好ましい。

3. 火入れ活動で、新たな地域活力を生み出そう



草地の管理は伝統的な火入れ作業によって行えば経費的に負担がかからず、環境面でも効果がある。

安全面では、水路を火除け空間として確保する。さらに、消防団との協働により、地域消防訓練や地域の活性化、新たな伝承文化活動の場にもできる。

定着すれば弓ヶ浜の観光資源に発展させることも考えられる。

注) 紙面の画像はインターネット上に掲載されたものを借用させて頂いています。

